

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会
相模原ブロック災害対策キャラバンが開催されました。
災害対策委員会 西澤 茂子

去る平成 29 年 10 月 31 日(火) 相模原協同病院にて「平成 29 年度 相模原ブロック災害対策キャラバン」が開催されました。

災害対策キャラバンは災害時のリハビリテーション支援ネットワークの構築を目的に年 2 回開催しており、今回で 8 回目となる本キャラバンは相模原ブロックで開催されました。

「相模原ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携」をテーマに、行政から新田英夫氏(相模原市危機管理局緊急対策課)、保健師の目代弥美氏(相模原市健康福祉局保健所地域保健課)、リハビリテーションの視点からは渡邊裕之氏(神奈川県理学療法士会相模原ブロック理事)に講和をいただきました。

新田氏からは相模原市における災害時の危機管理体制や地域防災計画・対策など平時からの取り組みや連携についてお話しをいただきました。また熊本地震における相模原市の対応について、実際に現地支援に行かれた時の状況も含めてお話しをいただきました。

目代氏からは大規模災害発災時の保健師配置や熊本地震における保健師の支援内容及び課題についてお話しをいただきました。課題のお話しの中で多様な組織団体がバラバラに動いて不効率であり、課題解決のためには平時から他職種の役割(動き)を知っておくことが必要とのお話しがありました。この為、多職種連携を目的とした本キャラバンの活動や理学療法士の支援活動にも期待を寄せてくださっていました。

渡邊氏より東日本大震災における日本理学療法士協会の支援体制や実際の支援活動等についてお話しをいただきました。支援の中心が環境支援であったこと、環境調整は非難所の方と一緒に役割を作った等の具体的な活動内容を写真も交えてお話しをいただきました。支援活動の経験がない参加者も多く、理学療法士の支援活動のイメージが広がったといった感想も聞かれました。

平日の夜の開催にも関わらず、40 名以上の方にご参加いただきました。職種も理学療法士だけではなく、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師など多職種の方にご参加いただき地域関連職の災害対策への関心の高さが窺えました。

相模原ブロック長の中田裕先生、エリアコーディネーターの佐藤陽介先生、会場の提供・準備のご協力をいただいた相模原協同病院の皆様、本当にありがとうございました。また、当日の運営を手伝っていただいた他ブロックのエリアコーディネーターの皆様にも感謝申し上げます。

災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりの為に、今後も各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センター等と連携を深めていきたいと考えています。より多くの皆様の関心とご参加をお待ちしています。

